

編集後記

これは統計を取ったわけではないのですが、最近の投稿はどちらかというと応用力学方面が多いようです。土木技術者の関心事あるいは関係している分野はこれよりはるかに広い事を考えると、応力以外の投稿がもっとあっても良いのではないのでしょうか。今月は投稿を中心に編集したのですがバラエティーに富んで読みやすい号にできたのではないかと思います。

会誌のあり方については学会のあるべき姿ともからんで、これまで種々論議されておりまだ結論も出ておりません。また、これこそが正しいあり方だとい切れるものでもないと思います。しかし少なくとも読みやすくだが内容は高度にという方向には向っています。この点で会誌と論文集が分離されたことが、今ふり返って見ると非常に重要な決定だったことがわかります。先日来、学会のあるべき姿について懸賞論文が募集されていて、この号がお手許に届く頃は締切られていると思いますが力作を期待しております。学会と会員をつなぐパイプである会誌をますます充実させるため一層のご協力をお願いします。

します。

小西先生の論説は非常にタイムリーな「海洋」です。この分野での土木工学の立遅れを挽回すべく来年早々には海洋工学特集を予定しております。ご期待下さい。内藤先生の水の話は、さり気なく書かれてはおりますが水道の三原則が危いことを教えてくれます。とくに水道を経由する水俣病にはギクリとさせられます。また吉田氏にはマスコミでは報じられなかったような高速道路事故の一面を書いて頂きました。とかく事故が起これば大騒ぎしてあとはケロリとしてしまうことの多い世の中ですが、本誌はたとえ熱し難くとも冷め難いという態度を買きたいと思います。

ふり返って見ると10月号の編集を始めたのが7月12日ですから、お手許に届くまでに4ヵ月ほどかかったわけです。この間における事務局編集課の努力には頭が下るばかりです。その意味で53巻4号の「表現の技術」講座を読み返して頂けたらと思います。

(石井弓夫・記)

会員の入退会について (昭和 43.8.1~8.31)

入会	80名 (正 50 学 29 特 1.D 1)
復活	1名 (正)
退会	19名 (正 16 学 2 特 1.D 2)
死亡	6名 (正)
転格	14名 学→正 10 正→学 4

特別会員の入退会

○入会	昭和 43.8.14 特 1.D	中央開発 (株) 西日本営業所	福岡市渡辺通 4-9-18
○退会	昭和 43.8.5 特 1.D	北海道開発工業 (株)	札幌市東札幌 1-4

会員現在数

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特1A	特1B	特1C	特1D	特2	合計	前月比 (増)
63	20 614	5 466	30	19	16	56	215	336	71	26 886	(56)

正会員	高 谷 武 助 君	青森県電力委員会	昭和 43. 8. 3	死去	81 才
"	飯 田 龍左衛門 君	(株) 鉄工社取締役社長	" 43. 3. 13	"	69 才
"	北 沢 潤 一 君	(株) 中国四国復建事務所	" 43. 8. 8	"	43 才
"	大久保 倭 雄 君	(株) 熊谷組東京支店技術研究所	" 43. 6. 5	"	38 才
"	溝 淵 保 夫 君	高知県土木部道路課	" 43. 8.	"	32 才
"	池 田 壮 雄 君	近畿大学理工学部講師	" 43. 7. 9	"	28 才

昭和 43 年 10 月 10 日印刷

昭和 43 年 10 月 15 日発行

土木学会誌 第 53 巻 第 10 号

印刷者 大 沼 正 吉

印刷所 株式会社 技 報 堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵製版印刷者 若 林 孟 夫

口絵写真印刷所 (株) 若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町 20 番地

発行者 羽 田 巖

発行所 社団法人 土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250 円 (送料 30 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130 (編集直通)・5138・5139 番

土木建築耐震設計施工

金多 潔・後藤尚男
竹村吉高・畑中元弘
山田善一・渡辺清治
共 著

A5判490頁
定価3000円

〔最新刊発売中〕

わが国は世界有数の地震国であることから、土木・建築構造物の設計施工に当たって、耐震的な考慮を払うべきことは今日では重要な問題となってきた。本書の狙いとするところは土木・建築両分野を共通的にみて、耐震設計施工に必要な基礎理論とその実際への応用に重点をおき、実務にある技術者および若い研究者が対象である。執筆に当たっての方針としてはなるべく実用向きに記述するがその根拠となる理論や現在の考え方についても説明を加え、最近の理論や実際にもふれ高級な理論も平易に概説した。実務的な計算例・設計例・参考資料表・公式集など実用上便利と思われるものはできるだけ入れ、なるべく文献を紹介し、各学会よりでている規定などと異なる取扱い部分は相互の関連を述べた。

〔略目次〕地震工学概説／振動の基礎理論と構造物の地震応答解析／土と基礎の耐震／構造物の力学的性質／一般建築物の耐震／高層建築物の耐震設計施工／土木構造物の耐震（Ⅰ）／土木構造物の耐震（Ⅱ）／振動障害／（付）

朝倉土木工学講座 全22巻

九大教授・工博 井 島 武 士
東大教授・工博 井 口 昌 平 編
京大教授・工博 岡 田 清 清
中大教授・工博 春日屋伸昌

22巻 環境衛生工学

庄司 光・山本剛夫（全22巻・6回）〔好評発売中〕
本書は主として、公害、交通災害および職業病など今日大きな問題となっている都市環境・産業環境の現実に注目し、その衛生学的欠点と原因を工学的な立場から考究。
★A5判 340頁 価1500円

2巻	構造力学	吉田俊弥著	1500円
3巻	水理学	岩佐義朗著	1200円
5巻	土質力学	赤井浩一著	1200円
15巻	交通計画	小川博三著	1100円
17巻	河川工学	吉川秀夫著	1300円

流体力学演習

東工大助教授・工学博士 椎貝博美著
完全流体の力学について定性的に理解するために書かれたもので、特色ある演習問題の解法などにより流体力学を懇切に説明した。技術者、学生の指針。
〔内容〕流体力学の基礎、基礎方程式、等角写像、三次元の運動、波の運動、演習問題。
価 680円

衛生工学ハンドブック

—上下水道・工業用廃水・水質保全—
大橋・久保・松本・合田・徳平・杉木編
上下水道・工業用廃水・水質保全など水を中心とした衛生工学の主要分野はめざましく発展しているが、本書はこれらの仕事にたずさわる技術者、研究者および大学関係学科の学生、工業高専学生の学習にもすぐ役立つ解説書として刊行されるもの。
価7000円

土木建築 基礎工学ハンドブック
村山朗郎・大崎順彦編 価 4000円

コンクリート工学ハンドブック
近藤泰夫・坂 静雄監修 価 5800円

ギャラームンの実用的解法
金多 潔・金多由紀子訳 価 2400円

セメント 工業材料規格便覧
コンクリート
日本材料学会編（1965年版） 価 1800円

水資源ハンドブック
安芸皎一・多田文男監修 価 3800円

地下水学
酒井軍治郎著 価 2300円

応用地下水学
酒井軍治郎著 価 2300円

日本岩石誌〔全4巻〕
柴田秀賢編 価 2000～2700円

東京都新宿区
新小川町2-10

朝倉書店

振替口座 東京8673番
〈理学・工学図書目録進呈〉